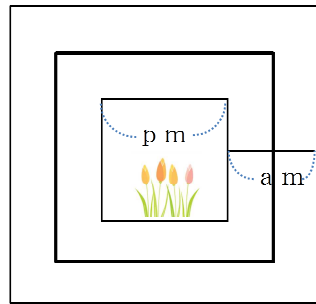


学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 1辺の長さが p m の正方形の花壇の周囲に、幅 a m の道があります。この道の面積を S m²、道の真ん中を通る線の長さを l m とするとき、 $S = a l$ となります。このことを証明しなさい。



(1) 下線部にあてはまる数や式を入れなさい。

道の面積 S は、次のように計算できる。

$S = (\text{外側の正方形の面積}) - (\text{内側の正方形の面積})$

$$S = (\underline{\hspace{2cm}})^2 - \underline{\hspace{2cm}}^2$$

$$= \underline{\hspace{2cm}}$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \text{ ①}$$

真ん中の線の長さ l は、1 辺が () m の正方形の周の長さだから

$$l = \underline{\hspace{2cm}}$$

$$l = \underline{\hspace{2cm}} \text{ となる。}$$

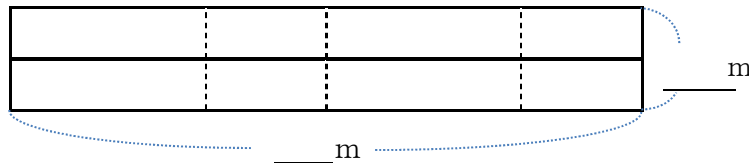
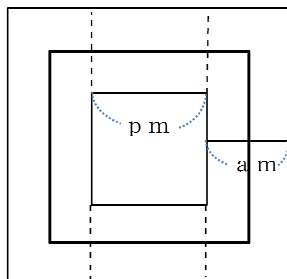
この式の両辺に a をかけて

$$= a (\underline{\hspace{2cm}})$$

$$= \underline{\hspace{2cm}} \text{ ②}$$

①, ②より $S = \underline{\hspace{2cm}}$

(2) 右上の図で ----- で区切ると、この道路は下の図のようにひとつの長方形にすることができます。下線部にあてはまる式を書きなさい。



したがって $S = a l$

2 一の位が 5 の 2 けたの自然数を 2 乗する計算を簡単にする方法について考えなさい。

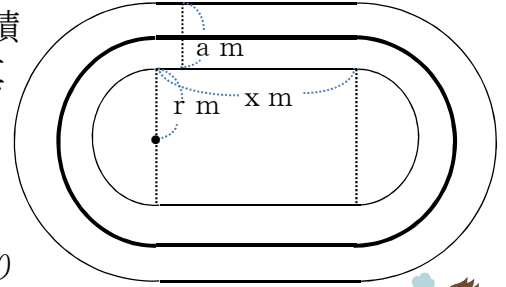
$$15^2 = 225, 25^2 = 625, 35^2 = 1225$$

(1) 上の結果から、百以上の位や十と一の位はどんな数になっているか書きなさい。

(2) 55^2 の結果を予想して書きなさい。

3 直線部分が x m、曲線部分が半径 r m の半円になっている陸上トラック型の土地の周りに、幅 a m の道があります。

この道の面積を S m²、道の真ん中を通る線の長さを l m とするとき、 $S = a l$ となります。このことを証明しなさい。



4 十の位が a 、一の位が 5 である 2 けたの整数の 2 乗に計算方法について、十と一の位は 5^2 、百以上の位は十の位の数とそれに 1 を加えた数の積になること証明しなさい。

証明 十の位が a 、一の位の数が 5 である 2 けたの自然数は と表される。

その数を 2 乗すると

$$(\underline{\hspace{2cm}})^2$$

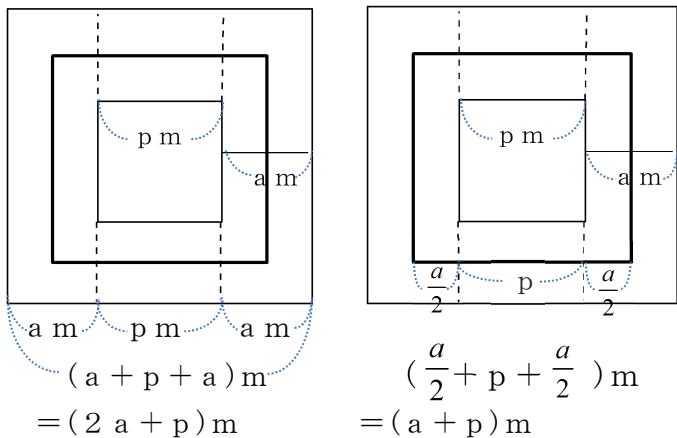
$$= (\underline{\hspace{2cm}})^2 + 2 \times \underline{\hspace{2cm}} \times \underline{\hspace{2cm}} + \underline{\hspace{2cm}}^2$$

$$= \underline{\hspace{2cm}}$$

$$= 100 a (\underline{\hspace{2cm}}) + 25 \text{ ①}$$

よって、①の $100 a (\underline{\hspace{2cm}})$ の部分は $100 \times a (\underline{\hspace{2cm}})$ と考えると百の位の数は と の積になっている。また、25 は十と一の位の数だから 5^2 になっている。

1



$$S = (\text{外側の正方形の面積}) - (\text{内側の正方形の面積})$$

$$\begin{aligned} S &= (2a+p)^2 - p^2 \\ &= 4a^2 + 4ap + p^2 - p^2 \\ &= 4a^2 + 4ap \quad \text{①} \end{aligned}$$

真ん中の線の長さ ℓ は、1辺が $(a+p)$ m の正方形の周の長さだから

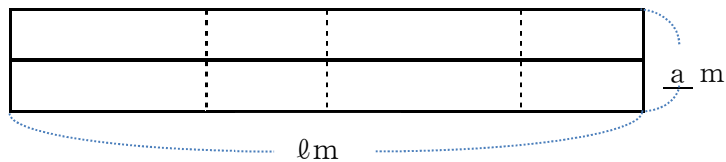
$$\begin{aligned} \ell &= 4(a+p) \\ &= 4a + 4p \end{aligned}$$

となる。この式の両辺に a をかけて

$$\begin{aligned} a\ell &= a(4a + 4p) \\ &= 4a^2 + 4ap \quad \text{②} \end{aligned}$$

①, ②より, $S = a\ell$

(2)



したがって $S = a\ell$

2

(1)

百以上の位はもとの自然数の十の位と十の位に1を加えた積に等しくなっている。

また、十と一の位はもとの自然数の一の位5を2乗した数になっている。

(2) 55^2

考え方

百以上の位の数は $5 \times (5 + 1) = 5 \times 6 = 30$ となる。

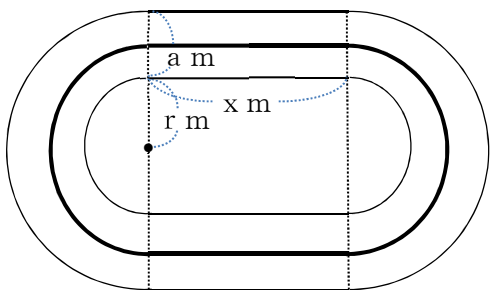
十と一の位はもとの自然数の一の位5を2乗した数

だから $5^2 = 25$

よって $55^2 = 3025$

答 3025

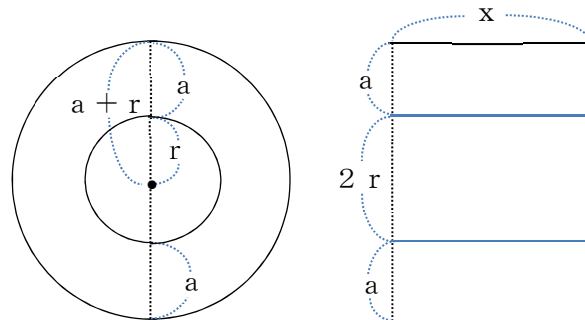
3



幅 a m の土地の面積は2つの半円の面積と2つの長方形の面積を加えればよいから

① 半径 $(a+r)$ m の円の面積から半径 r m の円の面積を引く。

② ①に縦が a m, 横が x m の長方形の面積の2倍を加える。



$$S = \{ \pi(a+r)^2 - \pi r^2 \} + a \times x \times 2$$

$$= \left\{ \pi(a^2 + 2ar + r^2) - \pi r^2 \right\} + 2ax$$

$$= \pi a^2 + 2\pi ar + \pi r^2 - \pi r^2 + 2ax$$

$$= \pi a^2 + 2\pi ar + 2ax$$

$$= a(\pi a + 2\pi r + 2x) \quad \text{①}$$

ℓ の長さは、直径 $(a+2r)$ の円周の長さ x の2倍を加えればよい。よって

$$\ell = \pi(a+2r) + 2x$$

$$= \pi a + 2\pi r + 2x \quad \text{となる。}$$

この式の両辺に a をかけて

$$a\ell = a(\pi a + 2\pi r + 2x) \quad \text{②}$$

①, ②より

$$S = a\ell$$

4

証明 十の位が a , 一の位の数 5 である2けたの自然数は $10a + 5$ と表される。

その数を2乗すると

$$(10a + 5)^2$$

$$= (10a)^2 + 2 \times 5 \times 10a + 5^2$$

$$= 100a^2 + 100a + 25$$

$$= 100a(a+1) + 25 \quad \text{①}$$

よって

①の $100a(a+1)$ の部分は

$100 \times a(a+1)$ と考えると百の位

の数は a と $a+1$ の積になっている。

また、25は十と一の位の数だから 5^2 になっている